

令和5年度 社会福祉学部 学校推薦型選抜（一般/専門高校・総合学科）

【出題意図】

文章の理解力，判断力，論理的思考力，設問の趣旨に沿って表現する力をみる。

【解答】

問1（解答例）

ディベートは、ある論題について一方が賛成、他方が反対の立場を取って議論しあうものであり、説得力ある論証を展開できた方が勝ちで、考えを変えると負けとなる。一方、ダイアログには基本的に勝ち負けは無いが、それを行う前と行った後で考えが変わらなかつたら行う意味がなく、変われなかつたらむしろ負けとも言える。つまり、議論において自分の意見に反論されても、その中から学ぶべき点を取りだして自分の意見を修正できるようなコミュニケーションである。闊達さとは、ダイアログのコミュニケーションに見られるように、相手の論が正しければいつでも自分の意見の方を変えることができるような余裕のある態度のことを言う。(295字)

（採点基準）

- ・ディベートとダイアログの違いが説明されている。
- ・闊達さとは何かの説明されており、ダイアログのコミュニケーションに見られる態度であることが述べられている。
- ・字数制限が守られている。
- ・誤字脱字がない。

問2（解答例）

個別の解答が予想されるため、解答例は示さない。

（採点基準）

- ・教養の2つの要素が説明されている。
- ・具体的な福祉的課題が挙げられている。
- ・闊達な議論によって、自分を相対化すること、必要であれば自分を変えていくことが、具体例の中で述べられている。
- ・字数制限が守られている。
- ・誤字脱字がない。